

報道機関各位

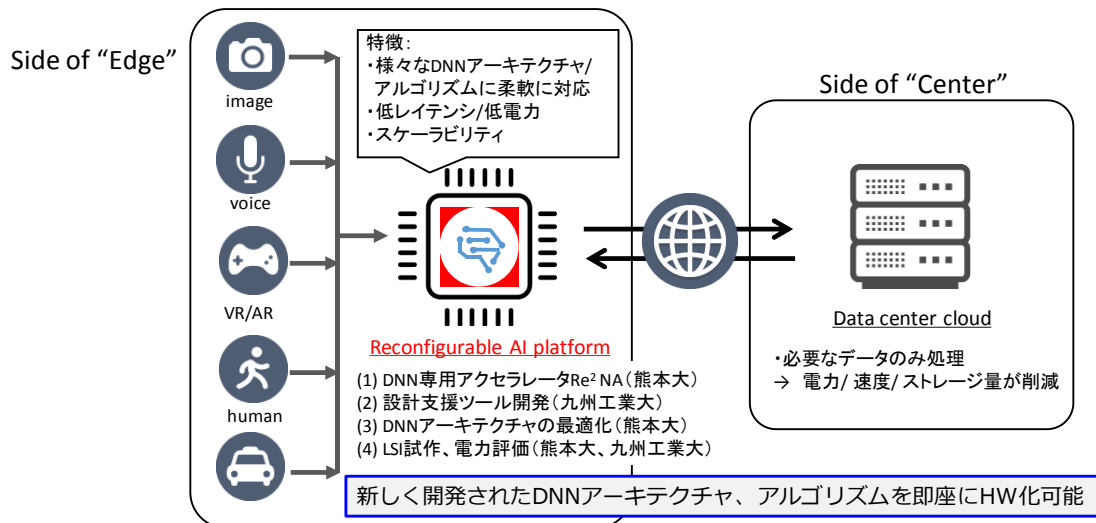
熊本大学

**新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
「革新的AI エッジコンピューティング技術の開発」に飯田教授の
「再帰再構成型ニューロモルフィックアクセラレータの研究開発」が採択！**

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発事業／【研究開発項目〔1〕】革新的AI エッジコンピューティング技術の開発」（先導調査研究枠）において、飯田全広教授が申請していた研究課題「再帰再構成型ニューロモルフィックアクセラレータの研究開発」が採択されました。全国で研究開発枠は7件、先導調査研究枠は本学を含む3件が採択されています。

【研究課題の概要】

人間の脳レベルの大規模・複雑な人工知能技術を実現するためには、従来の計算処理体系では消費電力やアーキテクチャの柔軟性欠如などが大きな問題となります。本研究ではDNN（Deep Neural Network）の多種多様な用途・構造に対応するためにリコンフィギャラビリティ（再構成性）を備えたAIチップを開発します。さらに、RISC-Vのようなオープンライセンスのプロセッサコアと連携させることで低コスト、高ユーザビリティ、高速かつ超低消費電力なリコンフィギャラブルAIプラットフォームの構築を目指します。



【参考】

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）：<http://www.nedo.go.jp/>

NEDO プレスリリース（8月10日）：http://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100047.html

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院先端科学研究部情報・エネルギー部門コンピュータ工学分野
飯田 全広（いいた まさひろ）
TEL：096-342-3649
Mail:iida@cs.kumamoto-u.ac.jp